

令和4年度後期アクションプラン構成事業一覧

資料2

施策の柱Ⅰ 生涯にわたるスポーツ活動の推進 ～子どものスポーツ～

関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4 当初予算 (千円)	R4 決算額 (千円)	令和4年度の実施状況及び成果
基本方向 1 子どもの健康な身体づくりと体力・運動能力向上の推進					
基本的な生活習慣定着促進事業	義務教育課	・子供の健やかな成長を支えるため、みやぎっ子ルルブル推進会議の設立趣旨に賛同する企業・団体と連携し、社会総がかりで、子供の基本的な生活習慣の定着を図る。	7,048	5,841	・ルルブル・仙台うみの杜水族館ポスターコンテストの実施(入賞作品11点) ・ルルブル通信発行(3回) ・新規会員登録数(141団体) ・ルルブル・エコチャレンジ事業の実施(参加者20、528人) ・基本的な生活習慣定着パンフレットの作成・配布 ・YouTubeバンパー広告 ・テレビSPOT(13本) ・子育て応援団すこやか2022への参加 ・子育て世代を対象にしたフリーペーパーへの情報掲載(1紙)
はやね・はやおき・あさごはん推奨運動	義務教育課	・「はやね・はやおき・あさごはん」といった基本的な生活習慣の定着を広く呼びかけ、子供の生活リズムの向上を図る普及活動を行う。	0	0	・子育て応援団すこやか2022へのブース出展 ・早寝早起き朝ごはん実行委員会in宮城と連携し、朝清掃活動しながら「早寝早起き朝ごはん」のPRを行った。 ・庁内・知事部局との連携
「学ぶ土台づくり」普及啓発事業	義務教育課	・「宮城県幼児教育推進指針みやぎの学ぶ土台づくり」に基づき、幼児教育に関係する各主体との連携・協力を図りながら、「親子間の愛着形成の促進」「基本的な生活習慣の確立」「豊かな体験活動による学びの促進」の必要性・重要性を啓発するとともに、「幼児教育の充実のための環境づくり」を推進するため、幼児教育センターの取組を通じて、幼稚園・保育所・認定こども園等における幼児教育の内容面の質の向上を図る。	2,403	1,115	【研修】 ・保幼小合同研修会(広域型)(年2回) (オンライン+集合型(参加者数:①43人・②37人)) ・保幼小合同研修会(小単位型)(年7回) ・ICTを活用した研修教材提供(2本) ・市町村担当者説明会(2回) 【支援】 ・幼児教育アドバイザー(10人委嘱) ・幼児教育アドバイザー派遣(派遣回数・16か所・延べ34回) ・「学ぶ土台づくり」の普及啓発 「学ぶ土台づくり」便り(年3回)等 【研究】 ・幼児教育に関わる実態調査・アンケート等(年1回) 【その他】 ・「学ぶ土台づくり」推進連絡会議(外部連携)(休止) ・幼児教育推進連絡会議(専門機関連携)(年1回)
メタボリックシンドローム対策戦略事業	健康推進課	第2次みやぎ21健康プランに基づき、メタボリックシンドロームの改善を図るため、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「たばこ」の3つを重点分野として、生活習慣の改善に向けた普及啓発等を行う。	3,459	1,282	各保健所において、市町村、教育機関、職域等の関係機関による企画・評価会議を開催し、地域特性に応じた健康課題の特定、対策となる事業実施方針の協議、結果検証等を行った。 働き盛り世代や子供を対象とした食生活の改善、身体活動量の増加、たばこ対策を中心とした普及啓発事業を実施した。 各保健所において、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「たばこ」の3分野を中心として、様々な機会や媒体を利用し、県民への普及啓発、市町村や事業所等への支援、他機関との連携体制の整備を進めた。
スマートみやぎプロジェクト	健康推進課	スマートみやぎ健民会議(県民運動)を基盤とし、県民に対して多方面からの効果的な情報伝達や市町村、民間企業等との協力により、日常的に健康づくりが実践できる社会環境の整備を行う。	21,505	13,391	「脱メタボ!健康3.15.0(サイコー)宣言」のダンスサイズ動画、ポスターを作成し、YouTubeによる配信、地下鉄駅構内や商店街での広告等で普及を図った。健康づくりのきっかけとなる「とりあえずやってみよう虎の巻パンフレット」を作成、配布、ラジオ番組やテレビ番組をタイアップし、情報提供を図った。 スマートみやぎ健民会議会員や、ヘルサテライトステーションの登録数増加を呼びかけ、一般会員数16団体、ヘルサテ22箇所の増となった。
子どもの健康を育む総合食育推進事業	保健体育安全課	・「食に関する指導の全体計画」等を作成し、各学校における食に関する指導体制の整備を進めるとともに、研修会等において実践的取組の周知を図る。 ・栄養教諭を中核とした取組の充実を図り、地域の特色を生かした食育の推進を図る。	93	36	・宮城県学校給食研究協議会 R4.7.25 オンライン開催 参加111人 R4.8.19～26 オンデマンド開催 申込88人 お茶の水女子大学教授から、「学校における食育の目標設定と評価」について講演をいただき、学校における食育の充実を図る一助となった。 ・宮城県食に関する指導推進研修会 R4.11.22 オンライン開催 参加42人 R4.12.5～9 オンデマンド開催 申込74人 女子栄養大学教授から、「日本人の食事摂取基準 2020年版、基本と活用」について講演をいただいたほか、栄養教諭による実践発表などを行い、食に関する指導の充実を図った。 ・ホームページの更新(随時更新)

関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4当初予算(千円)	R4決算額(千円)	令和4年度の実施状況及び成果
みやぎの子ども体力・運動能力充実プロジェクト	保健体育安全課	・子供の体力・運動能力を向上させるため、子供の体力・運動能力の実態を調査、分析し、向上策を検討する。 ・小・中学校教員に対して、体力向上の意義を伝え、児童生徒の体力向上に向けた教員の意識の変容を促すとともに、各学校における日常的な体力向上に向けた取組のために講習会を開催する。	1,327	1,308	・拡充合同推進会議を年2回開催し、有識者から児童生徒の体力・運動能力の向上、健康の保持増進について、令和5年度の新規事業に生かせるアイデア等をいただき、反映させることができた。 ・講習会では、正しい体力調査の仕方、県の課題や次年度に向けての取組を周知し、各学校での体力向上の手立てに生かしてもらうことができた。 ・Web運動広場で長なわ跳び、短なわ跳び、マラソンの各大会を実施し、長なわ跳びには100校532チーム、短なわ跳びには24校1096人、マラソンには32校194チームと、令和3年度を越える学校と児童生徒が参加し、体力・運動能力向上に取組んだ。
広域スポーツセンター事業	スポーツ振興課	(総合型クラブ指導者育成業務) ・生涯スポーツの指導者を対象に医科学・スポーツ障害予防の観点を含む研修会を開催する。	6,903	6,903	・グランディ・21プール会議室を会場に、15名が受講した。 ・仙台大学教授含む3名の講師が2日間14時間の講義を行った。
体力・地域スポーツ力向上推進事業	保健体育安全課	児童生徒の体力や地域スポーツ力向上に意欲のある市町村及びスポーツ関係団体を対象に、大学や民間企業と連携して課題解決に取り組む優れた事業提案をモデル事業として採択し、実施する。	5,796	4,356	大学や民間企業と連携し、県内3市町で体力向上と運動機会の創出事業を行った。成果として、実施校では体力・運動能力の向上が見られ、児童アンケートでも運動が「好き」と回答した児童が増加した。
子どものスポーツ	宮城県スポーツ協会	子どもがより一層スポーツに取り組むことができるよう、子どもを対象とした各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催する。			剣道寒稽古会 中止 グランディ・21スポーツ大会 中止 各種スポーツ教室・フィットネス等開催事業 通年(57,689人) 地方青少年なぎなた錬成大会 1回(53人) 子どもの体力向上事業 3回(85人) 10,000人寒稽古 中止 ビクトリークリニック 中止 トップアスリート交流事業 2回(157人) グランディ・21陸上クリニック 1回(189人)
幼児加入のための条件整備	宮城県スポーツ協会(宮城県スポーツ少年団)	・幼児受け入れに伴う課題の検討 ・幼児の受け入れ体制づくりと関係団体との連携促進 ・幼児およびその保護者を対象にした運動遊びのプログラムの研修			アクティブチャイルド普及促進研修会 2回(39人)
基本方向 2 子どもの遊ぶ(身体活動)機会の創出					
宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭開催事業	スポーツ振興課	・県民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起する「宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭」を7つの地区ごとに開催する。	1,700	1,700	・グランディ・21を会場に開催し、延べ1,873名の県民が参加した。 ・優良スポーツ団体及び個人の表彰式を実施した。(2団体、個人5名)
基本的な生活習慣定着促進事業(再掲)	義務教育課	・子供の健やかな成長を支えるため、みやぎっ子ルルブル推進会議の設立趣旨に賛同する企業・団体と連携し、社会総がかりで、子供の基本的な生活習慣の定着を図る。	7,048	5,841	・ルルブル・仙台うみの杜水族館ポスターコンテストの実施(入賞作品11点) ・ルルブル通信発行(3回) ・新規会員登録数(141団体) ・ルルブル・エコチャレンジ事業の実施(参加者20,528人) ・基本的な生活習慣定着パンフレットの作成・配布 ・YouTubeバンパー広告 ・テレビSPOT(13本) ・子育て応援団すこやか2022への参加 ・子育て世代を対象にしたフリーペーパーへの情報掲載(1紙)
「学ぶ土台づくり」普及啓発事業(再掲)	義務教育課	・「宮城県幼児教育推進指針みやぎの学ぶ土台づくり」に基づき、幼児教育に関係する各主体との連携・協力を図りながら、「親子間の愛着形成の促進」「基本的な生活習慣の確立」「豊かな体験活動による学びの促進」の必要性・重要性を啓発するとともに、「幼児教育の充実のための環境づくり」を推進するため、幼児教育センターの取組を通じて、幼稚園・保育所・認定こども園等における幼児教育の内容面の質の向上を図る。	2,403	1,115	【研修】 ・保幼小合同研修会(広域型)(年2回) (オンライン+集合型(参加者数:①43人・②37人)) ・保幼小合同研修会(小単位型)(年7回) ・ICTを活用した研修教材提供(2本) ・市町村担当者説明会(2回) 【支援】 ・幼児教育アドバイザー(10人委嘱) ・幼児教育アドバイザー派遣(派遣回数・16か所・延べ34回) ・「学ぶ土台づくり」の普及啓発 「学ぶ土台づくり」便り(年3回)等 【研究】 ・幼児教育に関わる実態調査・アンケート等(年1回) 【その他】 ・「学ぶ土台づくり」推進連絡会議(外部連携)(休止) ・幼児教育推進連絡会議(専門機関連携)(年1回)
ベガルタ仙台ホームタウン協議会事業 楽天イーグルス・マイチーム協議会事業 仙台89ERSホームタウン協議会事業 仙台プロスポーツネット事業	スポーツ振興課	プロスポーツチームの地域への定着を支援するため、各スポーツそれぞれの地域支援組織への参画を通じ、側面支援を行う。	5,200	5,100	プロスポーツチームの地域への定着を支援するため、各スポーツそれぞれの地域支援組織への参画を通じ、側面支援を実施した。

関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4当初予算(千円)	R4決算額(千円)	令和4年度の実施状況及び成果
地域学校協働活動推進事業(放課後子供教室)	生涯学習課	・県内の小学校区において、全ての児童を対象とし、放課後や週末等に子供たちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の方々(ボランティア活動)の参画を得て、子供たちの学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を実施することにより、子供たちが地域の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	65,651	44,042	令和4年度は、放課後子供教室を22市町村で74教室を開設した。幅広い地域住民が自分の特技や持ち味を發揮しながら活動に参画し、子供を支えることにより、生きがいや交流機会の創出、地域コミュニティの形成に大きく寄与している。
オリンピック・パラリンピック競技大会レガシー継承事業	スポーツ振興課	「復興五輪」として位置づけられた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の終了後においても、今まで取り組んできたスポーツの機運醸成、国際交流の推進を継続しながら、競技開催県として得た経験をレガシーとして未来に継承することで、スポーツを通じた県民の健康増進・共生社会の成熟を図る。	10,900	6,487	・アスリートとの交流イベント開催 3回 ・次世代みやぎアスリート選手指定(補助金交付)10人指定 ・市町ホストタウン交流・スポーツ振興事業の支援4市町 ・1都3県交流イベント開催 参加者107名
子どものスポーツ(再掲)	宮城県スポーツ協会	子どもがより一層スポーツに取り組むことができるよう、子どもを対象とした各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催する。			剣道寒稽古会 中止 グランディ・21スポーツ大会 中止 各種スポーツ教室・フィットネス等開催事業 通年(57,689人) 地方青少年なぎなた錬成大会 1回(53人) 子どもの体力向上事業 3回(85人) 10,000人寒稽古 中止 ビクトリークリニック 中止 トップアスリート交流事業 2回(157人) グランディ・21陸上クリニック 1回(189人)
施設の利用促進	宮城県スポーツ協会	気軽に利用できる身近な施設としてPRに努め、施設の利用促進を図る。			施設無料開放事業 1回(3,012人) 自転車競技場利活用事業 1回(147人) 施設開放事業 1回(123人) 施設利活用事業 通年(2,073人) スポーツフェスティバル開催事業 1回(6,366人)
幼児加入のための条件整備(再掲)	宮城県スポーツ協会(宮城県スポーツ少年団)	・幼児受け入れに伴う課題の検討 ・幼児の受け入れ体制づくりと関係団体との連携促進 ・幼児およびその保護者を対象にした運動遊びのプログラムの研修			アクティブチャイルド普及促進研修会 2回(39人)
<各種交流会開催> 宮城県スポーツ少年大会(毎年開催) 市・地区交流会	宮城県スポーツ協会	・集団生活をしながら、スポーツ活動を中心に、学習活動、野外活動、交歓交流活動等を行うことで、青少年の心と体を育てる ・子どもたちとともにスポーツ少年大会の企画運営を行うことを通して、子どもたちが様々なスポーツに親しむ場を提供する			新型コロナウイルス感染症対策のため、宿泊研修を集合研修として実施。(4人)
団員を対象とした国際交流事業	宮城県スポーツ協会(宮城県スポーツ少年団)	・ドイツや中国への派遣事業を通して国際的な視野を持った青少年を育成する ・ドイツや中国の青少年とスポーツ活動を中心とした交流を通して、海外のスポーツ事情について学ぶ ・ドイツや中国でのディスカッションやホームステイを通して海外の文化について学ぶ ・ドイツ団や中国団の受け入れを通して海外のスポーツ事情や文化について学ぶ			新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインで実施(5人)
組織整備強化事業	宮城県スポーツ協会	各市・地区協議会、種目別協議会に対する助成金の交付、交流事業・研修事業の実施、本部との情報共有の推進			各市・地区協議会、種目別協議会に対する助成金の交付(22協議会) 各市・地区協議会、種目別協議会による交流事業・研修事業の実施(23大会 団体種目950チーム、個人種目2,769人) (10事業 2,248人)
プロスポーツ連携事業	宮城県スポーツ協会	県民が競技の楽しさをより深く体験することができるよう、プロスポーツ団体と連携し、プロスポーツ選手によるスポーツ教室を開催する。			仙台89ersバスケットボール教室 1回(56人) リガーレ仙台バレーボール教室 1回(45人)
障害児運動・あそびの広場事業	宮城県障害者スポーツ協会	障害児がのびのびと身体を動かせる機会や場を提供し、障害児の健康増進、運動あそび実践のきっかけ作りをサポートすることを目的にレクリエーション活動を中心としたあそびの広場を開催。			9月から3月まで、年間9回の開催を企画したが、参加者が集まらず、2回を中止とした。延べ179名の参加があった。
ニュースポーツ体験	宮城県レクリエーション協会	県民の健康の維持増進や生きがいづくりのために生涯スポーツの一環としてニュースポーツに出会う「場」の提供と、さらに出会った種目を日常的・継続的に生活の一部とするように支援支援する。			実施済 参加者延べ519名 ニュースポーツ5種目の他に昔遊びコーナーも設置 イオンからも高評価

基本方向 3 子どもがスポーツを「みる」「支える」機会の創出

広域スポーツセンター事業(生涯スポーツ担当者会議)	スポーツ振興課	本県の生涯スポーツを振興していくうえで効果的・効率的な事業の推進策や新たな方向性について検討する。	288	0	・4月、10月の2回実施。 ・各教育事務所生涯スポーツ担当者8名が参加。
ベガルタ仙台ホームタウン協議会事業 楽天イーグルス・マイチーム協議会事業 仙台89ERSホームタウン協議会事業 仙台プロスポーツネット事業(再掲)	スポーツ振興課	プロスポーツチームの地域への定着を支援するため、各スポーツそれぞれの地域支援組織への参画を通じ、側面支援を行う。	5,200	5,100	プロスポーツチームの地域への定着を支援するため、各スポーツそれぞれの地域支援組織への参画を通じ、側面支援を実施した。
施設の利用促進(再掲)	宮城県スポーツ協会	気軽に利用できる身近な施設としてPRに努め、施設の利用促進を図る。			施設無料開放事業 1回(3,012人) 自転車競技場利活用事業 1回(147人) 施設開放事業 1回(123人) 施設利活用事業 通年(2,073人) スポーツフェスティバル開催事業 1回(6,366人)

関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4当初予算(千円)	R4決算額(千円)	令和4年度の実施状況及び成果
基本方向 4 学校体育の充実					
みやぎの子ども体力・運動能力充実プロジェクト(再掲)	保健体育安全課	・子供の体力・運動能力を向上させるため、子供の体力・運動能力の実態を調査、分析し、向上策を検討する。 ・小・中学校教員に対して、体力向上の意義を伝え、児童生徒の体力向上に向けた教員の意識の変容を促すとともに、各学校における日常的な体力向上に向けた取組のために講習会を開催する。	1,327	1,308	・拡充合同推進会議を年2回開催し、有識者から児童生徒の体力・運動能力の向上、健康の保持増進について、令和5年度の新規事業に生かせるアイデア等をいただき、反映させることができた。 ・講習会では、正しい体力調査の仕方、県の課題や次年度に向けての取組を周知し、各学校での体力向上の手立てに生かしてもらうことができた。 ・Web運動広場で長なわ跳び、短なわ跳び、マラソンの各大会を実施し、長なわ跳びには100校532チーム、短なわ跳びには24校1096人、マラソンには32校194チームと、令和3年度を越える学校と児童生徒が参加し、体力・運動能力向上に取組んだ。
学校体育研修派遣費	保健体育安全課	文部科学省等が主催する研修会等に学校体育担当指導主事及び教職員を派遣し、学校体育の充実を図る。 ・指導者養成研修と受講者の伝達講習会を開催する。	506	157	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった研修もあったが、オンラインや参集による研修も増え、授業改善の工夫や授業に生かせる手立てなどを学ぶことができた。
全国特別支援学校体育大会参加事業	保健体育安全課	・全国特別支援学校体育大会への参加に要する経費の一部を補助し、生涯体育・スポーツの素地となる体育活動の一層の充実と発展を図る。	247	180	選手及び監督16名に対し参加費の一部補助を行った。
基本方向 5 運動部活動の充実					
体育大会開催費補助	保健体育安全課	中・高等学校の体育大会の開催に要する経費の一部を負担し、中学校、高等学校における体育・スポーツの充実と振興を図る。	9,100	8,920	東北中学校体育大会2種目、東北高等学校選手権大会5種目、全国中学校体育大会2種目に対し共済負担金を支出した。
全国高等学校総合体育大会参加事業 全国高等学校定時制通信制体育大会参加事業	保健体育安全課	全国高等学校体育大会・全国高等学校定時制通信制体育大会への参加に要する経費の一部を補助し、高等学校運動部の充実と振興を図る。	15,488	13,334	選手及び監督827名に対し参加費の一部補助を行った。
運動部活動地域連携促進事業	保健体育安全課	・地域の優れたスポーツ指導者を活用して、単独で部活動の技術指導や大会等への引率を行える「部活動指導員」を、中学校及び県立高等学校に配置し、教員の働き方改革と運動部活動の充実を図る。	36,748	36,748	県立学校に部活動指導員を配置し、教員の働き方改革の一助とすることができた。
部活動の在り方検討会議	保健体育安全課	本県の部活動に関する様々な課題と目指すべき姿を検討するため、教育関係者及びスポーツ関係者を構成員とした検討会議を開催する。	18	18	学校部活動及び地域クラブ活動に関するガイドライン検討会の開催(1回)
広域スポーツセンター事業(再掲)	スポーツ振興課	(総合型クラブ指導者育成業務) ・生涯スポーツの指導者を対象に医科学・スポーツ障害予防の観点を含む研修会を開催する。	6,903	6,903	・グランディ・21プール会議室を会場に、15名が受講した。 ・仙台大学教授含む3名の講師が2日間14時間の講義を行った。
運動部リーダー養成講座	宮城県高等学校体育連盟	運動部リーダー養成のため、メンタルトレーニングの講演・講義・演習、コンディショニングの実技並びに体験発表等を通して個々の資質向上を図り、もって各校運動部の充実、普及、競技力向上を目指す。			昨年度に続き、コロナ感染予防対策のため1日のみの開催とした。50回記念として講師にはリオ五輪バドミントン女子ダブルス金メダリストの高橋礼華氏と日本体育大学の坂部崇政氏を招聘し、充実したものとなった。参加者アンケートでは95%が「おおいに役に立つ内容だった」と回答し、大きな効果が得られたが、参加者同士の交流や意見交換があると良い等との感想もあり、参加者のニーズに応えながら、より充実したプログラムを検討・実施していくことが今後の課題である。
高体連スポーツ振興補助金事業	宮城県高等学校体育連盟	全国高等学校体育大会等への参加に要する経費の一部を参加校に対し、予算の範囲内で補助し、高校スポーツの振興を図る。			インターハイ主会期(水泳含)には、指導者57名、選手583名に対し補助金を交付した。優勝4種目を含め12専門部(前年度比±0)55個人団体(前年比-2)が上位入賞を果たしたが、前年度と比較し入賞数は微減となった。
高体連強化事業補助金事業	宮城県高等学校体育連盟	県内高等学校指導者・選手が、県代表として全国高等学校総合体育大会等に出場するための強化事業として、練習会、合宿及び遠征等を実施して強化を図る。			例年通りの強化事業を実施できた専門部も多かったが、専門部によっては新型コロナウイルス感染症の影響により強化事業を実施できない専門部もあった。全国高校総体においては、前年度より微減ながらも入賞者を輩出し、全国選抜大会・選手権大会においても、上位入賞者を輩出するなど一定の成果が得られた。
高体連運動部活動指導者研修協議会	宮城県高等学校体育連盟	部活動の在り方、競技力の向上等諸問題について研究発表及び協議を行い、指導者の資質の向上を図り、効果的な選手の育成と優れた指導者の育成に寄与する。			ソニー仙台サッカークラブ監督の鈴木淳氏を講師として招聘し、スポーツ指導の在り方について講演をいただいた。多くの参加があり、研究協議等においても活発に協議が行われ、大変有意義な研修となった。
中体連競技力向上対策事業	宮城県中学校体育連盟	競技力の向上と普及を目指して、遠征、練習会等を行う。また、強化指定選手へのポイントを絞った強化事業を推進する。			令和3年度と比較すれば、実施できた新型コロナウイルス感染症の影響で、実施が出来ない専門部もあり難しい現状であった。

関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4当初予算(千円)	R4決算額(千円)	令和4年度の実施状況及び成果
施策の柱Ⅰ 生涯にわたるスポーツ活動の推進 ～働く世代のスポーツ～					
関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4当初予算(千円)	R4決算額(千円)	令和4年度の実施状況及び成果
基本方向 1 日常生活における身体活動の奨励					
メタボリックシンドローム対策戦略事業(再掲)	健康推進課	第2次みやぎ21健康プランに基づき、メタボリックシンドロームの改善を図るため、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「たばこ」の3つを重点分野として、生活習慣の改善に向けた普及啓発等を行う。	3,459	1,282	各保健所において、市町村、教育機関、職域等の関係機関による企画・評価会議を開催し、地域特性に応じた健康課題の特定、対策となる事業実施方針の協議、結果検証等を行った。 働き盛り世代や子供を対象とした食生活の改善、身体活動量の増加、たばこ対策を中心とした普及啓発事業を実施した。 各保健所において、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「たばこ」の3分野を中心として、様々な機会や媒体を利用し、県民への普及啓発、市町村や事業所等への支援、他機関との連携体制の整備を進めた。
スマートみやぎプロジェクト(再掲)	健康推進課	スマートみやぎ健民会議(県民運動)を基盤とし、県民に対して多方面からの効果的な情報伝達や市町村、民間企業等との協力により、日常的に健康づくりが実践できる社会環境の整備を行う。	21,505	13,391	「脱メタボ!健康3.15.0(サイコー)宣言」のダンスサイズ動画、ポスターを作成し、YouTubeによる配信、地下鉄駅構内や商店街での広告等で普及を図った。健康づくりのきっかけとなる「とりあえずやってみよう虎の巻パンフレット」を作成、配布、ラジオ番組やテレビ番組をタイアップし、情報提供を図った。 スマートみやぎ健民会議会員や、ヘルサテライトステーションの登録数増加を呼びかけ、一般会員数16団体、ヘルサテ22箇所の増となった。
働く人の健康づくりプラス推進事業	健康推進課	働き盛り世代である青年期・壮年期を主な対象とし、健康づくりを気軽に取り組める環境の整備を行う。	10,390	9,855	生活習慣に課題の多い青・壮年期の働き盛り世代を主な対象とし、ウォーキングプラス事業については、事業所対抗「歩数アップチャレンジ2022」を全県で実施し歩行数の見える化やインセンティブ付与等により気軽に楽しい健康づくりの実践を促した。 ベジプラス事業では、企業が発行する食育冊子やフリーペーパーの活用、テレビ番組やラジオ番組とタイアップしたPR等により、県民の野菜摂取や減塩の意識醸成と自薦を促した。
広域スポーツセンター事業(生涯スポーツ担当者会議)(再掲)	スポーツ振興課	本県の生涯スポーツを振興していくうえで効果的・効率的な事業の推進策や新たな方向性について検討する。	288	0	・4月、10月の2回実施。 ・各教育事務所生涯スポーツ担当者8名が参加。
働く世代のスポーツ	宮城県スポーツ協会	働く世代がより一層スポーツに取り組むことができるよう、働く世代を対象としたフィットネススクールの開催やスポーツ大会を支援する。			宮城ヘルシー支援事業 1回 各種スポーツ教室・フィットネス等開催事業 通年(57,689人) 健康ウォーキング教室 2回(27人) 大人の体力向上事業 通年(346人) 稽古収め 1回(10人) 新春初げい古 1回(18人) 天空大河 通年(189人) 中国気功教室 通年(275人) なぎなた教室 通年(41人)
施設の利用促進(再掲)	宮城県スポーツ協会	気軽に利用できる身近な施設としてPRに努め、施設の利用促進を図る。			施設無料開放事業 1回(3,012人) 自転車競技場利活用事業 1回(147人) 施設開放事業 1回(123人) 施設利活用事業 通年(2,073人) スポーツフェスティバル開催事業 1回(6,366人)
基本方向 2 スポーツ活動機会の創出と交流の推進					
宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭開催事業(再掲)	スポーツ振興課	県民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起する「宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭」を7つの地区ごとに開催する。	1,700	1,700	・グランディ・21を会場に開催し、延べ1,873名の県民が参加した。 ・優良スポーツ団体及び個人の表彰式を実施した。(2団体、個人5名)
青少年教育活動事業	生涯学習課	青年の文化活動及びスポーツ活動を推進するため地方青年文化祭、県青年文化祭、県青年体育大会を開催する。 青年団等の資質向上や活動の一層の充実を図るため、一般財団法人宮城県青年会館が青少年の健全育成を図る目的で実施する主催事業に対して補助金を交付する。	1,335	1,048	第74回宮城県青年体育大会 令和4年8月28日(日)実施 参加者総計148人 参加者は競技を通して青年同士の友好親善を深めることができた。
広域スポーツセンター事業(生涯スポーツ活動指導者研修会)	スポーツ振興課	地域におけるスポーツ活動の指導者を対象に、広く生涯スポーツの振興に必要な知識・技能及び具体的な施策展開方法等について研修する。	97	89	講義・実技「ニュースポーツ・パラスポーツ研修」(クップ・モルック・卓球バレー)を行った。69名参加。
広域スポーツセンター事業(再掲)	スポーツ振興課	(総合型クラブ設立・育成業務) 総合型クラブ設立に向けた市町村や既存の総合型クラブ等に対し、指導・助言に当たる。	6,903	6,903	・未設置11市町村に延べ19回訪問。白石市に1クラブが設立し、設置市町村は25市町、クラブ数は53。3町で準備団体設立済み。 ・52クラブに訪問・電話相談延べ74回。
広域スポーツセンター事業(生涯スポーツ担当者会議)(再掲)	スポーツ振興課	本県の生涯スポーツを振興していくうえで効果的・効率的な事業の推進策や新たな方向性について検討する。	288	0	・4月、10月の2回実施。 ・各教育事務所生涯スポーツ担当者8名が参加。
体力・地域スポーツ力向上推進事業(再掲)	保健体育安全課	児童生徒の体力や地域スポーツ力向上に意欲のある市町村及びスポーツ関係団体を対象に、大学や民間企業と連携して課題解決に取り組む優れた事業提案をモデル事業として採択し、実施する。	5,796	4,356	大学や民間企業と連携し、県内3市町で体力向上と運動機会の創出事業を行った。成果として、実施校では体力・運動能力の向上が見られ、児童アンケートでも運動が「好き」と回答した児童が増加した。

関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4当初予算(千円)	R4決算額(千円)	令和4年度の実施状況及び成果
ベガルタ仙台ホームタウン協議会事業 楽天イーグルス・マイチーム協議会事業 仙台89ERSホームタウン協議会事業 仙台プロスポーツネット事業(再掲)	スポーツ振興課	プロスポーツチームの地域への定着を支援するため、各スポーツそれぞれの地域支援組織への参画を通じ、側面支援を行う。	5,200	5,100	プロスポーツチームの地域への定着を支援するため、各スポーツそれぞれの地域支援組織への参画を通じ、側面支援を実施した。
障害スポーツ・レクリエーション事業 (レクリエーション教室開催事業、障害者スポーツ教室等開催事業、各種障害者スポーツ大会の開催)	障害福祉課	障害者スポーツ教室を開催するなどして、障害者の特性に応じたスポーツ技術のルール、心構え等の講習・実技を通じ、スポーツに親しむ機会を設ける。	11,881	7,900	・宮城県障がい者ボウリング大会(計60人参加) ・宮城県障がい者パークゴルフ交流大会(計58人参加) ・各種スポーツ教室(9種目延べ103人) ・団体競技普及促進事業(4種目延べ359人) ・全国障害者スポーツ大会団体競技予選会(男子バレーボール(知的)、ソフトボール(知的)の2種目開催) ・総合型地域スポーツクラブとの連携開催(延べ490人)
家庭バレーボール県大会	宮城県スポーツ推進委員協議会	生涯スポーツの一環として誰でも手軽にできるスポーツ、家庭バレーボールの振興と健康の保持増進および体づくりを図る。			第14回家庭バレーボール県大会開催 参加チーム数:20チーム
総合型地域スポーツクラブの育成・支援	宮城県スポーツ協会	「総合型地域スポーツクラブ」の普及に向けた取り組みを支援するため、市町村体育・スポーツ協会が地域で大会、スポーツ教室、スポーツ研修会等を企画運営し、実施する事業に要する経費を助成する。 また、県より、みやぎ広域スポーツセンターの運営委託業務を受託し、設立・運営の助言を実施する。			地域スポーツクラブ普及推進事業 12市町村協会 みやぎ広域スポーツセンター運営業務委託事業 35市町村・52クラブ 5準備クラブ 総合型地域スポーツクラブ設立準備補助事業 1市協会 中間支援組織運営事業 35市町村・53クラブ(登録数24団体)
スポーツ指導者の養成	宮城県スポーツ協会	各種スポーツ指導者の指導力向上のため、日本スポーツ協会公認指導者の資格更新義務講習会等を開催する。 また、幼児や障害者のスポーツ指導者の養成を行う講習会を開催する			公認スポーツ指導者養成講習会事業(バレーボールコーチ1養成)38人 スポーツ指導者研修会 1回 160人 スポーツ指導者協議会事業 通年 武道指導者研修会 2回(229人) 幼児運動指導者講習会 1回(37人)
施設の利用促進(再掲)	宮城県スポーツ協会	気軽に利用できる身近な施設としてPRに努め、施設の利用促進を図る。			施設無料開放事業 1回(3,012人) 自転車競技場活用事業 1回(147人) 施設開放事業 1回(123人) 施設利活用事業 通年(2,073人) スポーツフェスティバル開催事業 1回(6,366人)
地域スポーツ団体の支援	宮城県スポーツ協会	市町村体育・スポーツ協会や県内の公共体育施設管理団体に対する情報提供や研修会等を行うほか、グランディ・21ボランティアへの支援等を行う。			体育施設ネットワーク事業 通年(35団体18人) ボランティア支援事業 通年(92人) メンタルトレーニング講習会 1回 市町村体育・スポーツ協会全体研修会事業 (67人) 市町村体育・スポーツ協会ブロック研修会事業(7ブロック) 東京オリンピック支援開催記念事業 1回(107人) 市町村体育・スポーツ協会講師派遣事業 1回 スポーツ観戦機会提供事業 通年(376人)
レクリエーションフェスティバル	宮城県レクリエーション協会	県民の健康の維持増進や生きがいづくりのために生涯スポーツの一環としてニュースポーツに出会う「場」の提供と、さらに出会った種目を日常的・継続的に生活の一部とするように支援支援する。 各種目団体の認知を目指し、また既にプレイヤーとして活動している方々には、「成果発表・交流の場」として位置づくように図る。			5月は、他事業との兼ね合いから未実施。 10月2日に実施済 参加者延べ367名
ニュースポーツ体験	宮城県レクリエーション協会	県民の健康の維持増進や生きがいづくりのために生涯スポーツの一環としてニュースポーツに出会う「場」の提供と、さらに出会った種目を日常的・継続的に生活の一部とするように支援支援する。			実施済 参加者延べ519名 ニュースポーツ5種目の他に昔遊びコーナーも設置 イオンからも高評価
施策の柱Ⅰ 生涯にわたるスポーツ活動の推進 ～高齢者のスポーツ～					
関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4当初予算(千円)	R4決算額(千円)	令和4年度の実施状況及び成果
基本方向 1 健康づくり活動の推進					
メタボリックシンドローム対策戦略事業(再掲)	健康推進課	第2次みやぎ21健康プランに基づき、メタボリックシンドロームの改善を図るため、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「たばこ」の3つを重点分野として、生活習慣の改善に向けた普及啓発等を行う。	3,459	1,282	各保健所において、市町村、教育機関、職域等の関係機関による企画・評価会議を開催し、地域特性に応じた健康課題の特定、対策となる事業実施方針の協議、結果検証等を行った。 働き盛り世代や子供を対象とした食生活の改善、身体活動量の増加、たばこ対策を中心とした普及啓発事業を実施した。 各保健所において、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「たばこ」の3分野を中心として、様々な機会や媒体を利用し、県民への普及啓発、市町村や事業所等への支援、他機関との連携体制の整備を進めた。

関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4当初予算(千円)	R4決算額(千円)	令和4年度の実施状況及び成果
スマートみやぎプロジェクト(再掲)	健康推進課	スマートみやぎ健民会議(県民運動)を基盤とし、県民に対して多方面からの効果的な情報伝達や市町村、民間企業等との協力により、日常的に健康づくりが実践できる社会環境の整備を行う。	21,505	13,391	「脱メタボ!健康3.15.0(サイコー)宣言」のダンスサイズ動画、ポスターを作成し、YouTubeによる配信、地下鉄駅構内や商店街での広告等で普及を図った。健康づくりのきっかけとなる「とりあえずやってみよう虎の巻パンフレット」を作成、配布、ラジオ番組やテレビ番組をタイアップし、情報提供を図った。 スマートみやぎ健民会議会員や、ヘルサテライトステーションの登録数増加を呼びかけ、一般会員数16団体、ヘルサテ22箇所の増となった。
広域スポーツセンター事業(生涯スポーツ担当者会議)(再掲)	スポーツ振興課	本県の生涯スポーツを振興していくうえで効果的・効率的な事業の推進策や新たな方向性について検討する。	288	0	・4月、10月の2回実施。 ・各教育事務所生涯スポーツ担当者8名が参加。
老人クラブ活動育成事業(健康づくり支援事業費)	長寿社会政策課	・介護予防・健康づくりの一環として、市町村老人クラブ連合会が行う健康づくり事業を支援する。	1,362	1,014	市町村老連等が開催する健康づくり研修会への理学療法士等の派遣(6回)及び講演会(1回)
みやぎシニアカレッジ運営事業 明るい長寿社会づくり推進事業	長寿社会政策課	・高齢者に生涯学習の場を提供し、生きがいと健康づくりを推進するとともに地域活動指導者の養成を行うため、みやぎシニアカレッジ(宮城いきいき学園)5校の運営を行う。 ・推進協力員を委嘱し、地域における高齢者の社会参加の促進と意識啓発を図る。	29,506	26,754	宮城いきいき学園(5校)における、ニュースポーツやクラブ活動の実施
高齢者のスポーツ	宮城県スポーツ協会	高齢者がより一層スポーツに取り組むことができるよう、高齢者を対象としたフィットネススクールやスポーツ大会を開催する。			宮城ヘルシー支援事業 1回 各種スポーツ教室・フィットネス等開催事業 通年(57,689人) 健康ウォーキング教室 2回(27人) 大人の体力向上事業 通年(346人) 稽古収め 1回(10人) 新春初げい古 1回(18人) 天空大河 通年(189人) 中国気功教室 通年(275人) なぎなた教室 通年(41人)
地域スポーツ団体の支援(再掲)	宮城県スポーツ協会	市町村体育・スポーツ協会や県内の公共体育施設管理団体に対する情報提供や研修会等を行うほか、グランディ・21ボランティアへの支援等を行う。			体育施設ネットワーク事業 通年(35団体18人) ボランティア支援事業 通年(92人) メンタルトレーニング講習会 1回 市町村体育・スポーツ協会全体研修会事業(67人) 市町村体育・スポーツ協会ブロック研修会事業(7ブロック) 東京オリンピック支援開催記念事業 1回(107人) 市町村体育・スポーツ協会講師派遣事業 1回 スポーツ観戦機会提供事業 通年(376人)
ニュースポーツ体験	宮城県レクリエーション協会	県民の健康の維持増進や生きがいづくりのために生涯スポーツの一環としてニュースポーツに出会う「場」の提供と、さらに出会った種目を日常的・継続的に生活の一部とするように支援する。			実施済 参加者延べ519名 ニュースポーツ5種目の他に昔遊びコーナーも設置 イオンからも高評価

基本方向 2 スポーツ活動機会の創出と交流の推進

明るい長寿社会づくり推進事業(再掲) ねんりんピック派遣事業	長寿社会政策課	・明るく活力ある長寿社会の実現に向けて、高齢者のスポーツ活動、健康づくり活動を推進するため、ねんりんピックに宮城県選手団を派遣するとともにその予選会を開催する。	7,441	7,441	ねんりんピックかながわ大会は、令和4年11月12日(土)から11月15日(火)まで開催され、宮城県からは24種目、158人を派遣。高齢者の生きがいと健康づくりの推進に寄与した。
老人クラブ活動育成事業(県老人スポーツ大会事業費)	長寿社会政策課	・介護予防・健康づくりの一環として、市町村老人クラブ連合会が行う健康づくり事業を支援する。	90	300	宮城県シニアスポーツ大会の開催(1回)
宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭開催事業(再掲)	スポーツ振興課	・県民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起する「宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭」を7つの地区ごとに開催する。	1,700	1,700	・グランディ・21を会場に開催し、延べ1,873名の県民が参加した。 ・優良スポーツ団体及び個人の表彰式を実施した。(2団体、個人5名)
広域スポーツセンター事業(生涯スポーツ活動指導者研修会)(再掲)	スポーツ振興課	・地域におけるスポーツ活動の指導者を対象に、広く生涯スポーツの振興に必要な知識・技能及び具体的な施策展開方法等について研修する。	97	89	講義・実技「ニュースポーツ・パラスポーツ研修」(クubb・モルック・卓球・パレー)を行った。69名参加。
広域スポーツセンター事業(再掲)	スポーツ振興課	(総合型クラブ設立・育成業務) 総合型クラブ設立に向けた市町村や既存の総合型クラブ等に対し、指導・助言に当たる。	6,903	6,903	・未設置11市町村に延べ19回訪問。白石市に1クラブが設立し、設置市町村は25市町、クラブ数は53。3町で準備団体設立済み。 ・52クラブに訪問・電話相談延べ74回。
広域スポーツセンター事業(生涯スポーツ担当者会議)(再掲)	スポーツ振興課	本県の生涯スポーツを振興していくうえで効果的・効率的な事業の推進策や新たな方向性について検討する。	288	0	・4月、10月の2回実施。 ・各教育事務所生涯スポーツ担当者8名が参加。
体力・地域スポーツ力向上推進事業(再掲)	保健体育安全課	児童生徒の体力や地域スポーツ力向上に意欲のある市町村及びスポーツ関係団体を対象に、大学や民間企業と連携して課題解決に取り組む優れた事業提案をモデル事業として採択し、実施する。	5,796	4,356	大学や民間企業と連携し、県内3市町で体力向上と運動機会の創出事業を行った。成果として、実施校では体力・運動能力の向上が見られ、児童アンケートでも運動が「好き」と回答した児童が増加した。
ベガルタ仙台ホームタウン協議会事業 楽天イーグルス・マイチーム協議会事業 仙台89ERSホームタウン協議会事業 仙台プロスポーツネット事業(再掲)	スポーツ振興課	プロスポーツチームの地域への定着を支援するため、各スポーツそれぞれの地域支援組織への参画を通じ、側面支援を行う。	5,200	5,100	プロスポーツチームの地域への定着を支援するため、各スポーツそれぞれの地域支援組織への参画を通じ、側面支援を実施した。

関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4 当初予算 (千円)	R4 決算額 (千円)	令和4年度の実施状況及び成果
総合型地域スポーツクラブの育成・支援(再掲)	宮城県スポーツ協会	「総合型地域スポーツクラブ」の普及に向けた取り組みを支援するため、市町村体育・スポーツ協会が地域で大会、スポーツ教室、スポーツ研修会等を企画運営し、実施する事業に要する経費を助成する。 また、県より、みやぎ広域スポーツセンターの運営委託業務を受託し、設立・運営の助言を実施する。			公認スポーツ指導者養成講習会事業(バレーボールコーチ1養成)34人 スポーツ指導者研修会 1回 96人 スポーツ指導者協議会事業 通年 武道指導者研修会 2回(229人) 幼児運動指導者講習会 1回(37人)
スポーツ指導者の養成(再掲)	宮城県スポーツ協会	各種スポーツ指導者の指導力向上のため、日本スポーツ協会公認指導者の資格更新義務講習会等を開催する。 また、幼児や障害者のスポーツ指導者の養成を行う講習会を開催する			公認スポーツ指導者養成講習会事業(バレーボールコーチ1養成)38人 スポーツ指導者研修会 1回 160人 スポーツ指導者協議会事業 通年 武道指導者研修会 2回(229人) 幼児運動指導者講習会 1回(37人)
施設の利用促進(再掲)	宮城県スポーツ協会	気軽に利用できる身近な施設としてPRに努め、施設の利用促進を図る。			施設無料開放事業 1回(3,012人) 自転車競技場活用事業 1回(147人) 施設開放事業 1回(123人) 施設利活用事業 通年(2,073人) スポーツフェスティバル開催事業 1回(6,366人)
地域スポーツ団体の支援	宮城県スポーツ協会	市町村体育・スポーツ協会や県内の公共体育施設管理団体に対する情報提供や研修会等を行うほか、グランディ・21ボランティアへの支援等を行う。			体育施設ネットワーク事業 通年(35団体18人) ボランティア支援事業 通年(92人) メンタルトレーニング講習会 1回 市町村体育・スポーツ協会全体研修会事業 1回 市町村体育・スポーツ協会ブロック研修会事業 7ブロック 東京オリンピック支援開催記念事業 1回(107人) 市町村体育・スポーツ協会講師派遣事業 2回 スポーツ観戦機会提供事業 通年(376人)
レクリエーションフェスティバル(再掲)	宮城県レクリエーション協会	県民の健康の維持増進や生きがいづくりのために生涯スポーツの一環としてニュースポーツに出会う「場」の提供と、さらに出会った種目を日常的・継続的に生活の一部とするように支援する。 各種目団体の認知を目指し、また既にプレイヤーとして活動している方々には、「成果発表・交流の場」として位置づくように図る。			5月は、他事業との兼ね合いから未実施。 10月2日に実施済 参加者延べ367名
ニュースポーツ体験	宮城県レクリエーション協会	県民の健康の維持増進や生きがいづくりのために生涯スポーツの一環としてニュースポーツに出会う「場」の提供と、さらに出会った種目を日常的・継続的に生活の一部とするように支援する。			実施済 参加者延べ519名 ニュースポーツ5種目の他に昔遊びコーナーも設置 イオンからも高評価

施策の柱Ⅱ 競技力向上に向けたスポーツ活動の推進

関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4 当初予算 (千円)	R4 決算額 (千円)	令和4年度の実施状況及び成果
-------	----------	------	--------------------	-------------------	----------------

基本方向 1 国際的なスポーツ大会・国体等で活躍できる人材の育成

スポーツ選手強化対策事業	スポーツ振興課	・本県のスポーツ振興と競技力及びスポーツ水準の向上を図るため、競技力向上対策費、強化推進費等を(公財)宮城県スポーツ協会に補助を行う。	136,540	134,069	・公益財団法人宮城県スポーツ協会を通じ、競技団体が実施する強化事業の経費の補助を行った。 ・上記における強化事業のほか、ジュニアアスリートの発掘・育成事業、指導者育成対策事業など、競技団体において一貫した強化体制が構築されるよう支援した。
国民体育大会派遣事業費	スポーツ振興課	・広く国民にスポーツを普及し、健康増進と体力向上を図ること等を目的として開催される国民体育大会の参加経費及び県予選会の開催費等の補助を行う。	77,582	59,081	国民体育大会に参加する宮城県選手団の旅費や宿泊などの派遣にか係る経費の補助を行った。
障害スポーツ・レクリエーション事業 (全国障害者スポーツ大会 宮城県選手団派遣事業)	障害福祉課	障害者が競技を通してスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的として開催される「全国障害者スポーツ大会」に宮城県選手団を派遣等する。	37,739	26,276	・宮城県・仙台市障害者スポーツ大会(陸上、卓球、水泳、フライングディスク、ボウリング、アーチェリー、ボッチャ(身体・知的・精神)の計7種目延べ495人) ・全国障害者スポーツ大会選手団の派遣(8種目47人派遣 金メダル11個含む計29個のメダル獲得)
オリンピック・パラリンピック競技大会レガシー継承事業	スポーツ振興課	「復興五輪」として位置づけられた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の終了後においても、今まで取り組んできたスポーツの機運醸成、国際交流の推進を継続しながら、競技開催県として得た経験をレガシーとして未来に継承することで、スポーツを通じた県民の健康増進・共生社会の成熟を図る。	10,900	10,900	
アスリートの強化促進	宮城県スポーツ協会	加盟競技団体が実施する競技力向上対策事業に要する経費について、補助金を交付する。 また、競技力向上を図る研修会等を開催する。			・競技団体が実施する実践的な強化事業を支援するため、補助金を交付した。 ・国体において短期的な成績向上を図るため得点獲得が期待できる競技団体に補助金を交付した。 ・高いレベルの指導者を育成することを目的とした事業を支援するため補助金を交付した。
ジュニアアスリートの発掘育成	宮城県スポーツ協会	地域で優れた素質を持つ選手を掘り起こし、セントラルトレーニングセンターでより一層の競技力向上を図るため、練習会や強化合宿等を実施し、将来的に有望な選手を育成する。			16競技団体と連携し、全国の舞台で活躍するジュニア選手の選抜・強化を目的とした事業を実施した。

関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4当初予算(千円)	R4決算額(千円)	令和4年度の実施状況及び成果
ジュニアスポーツパワーアップ事業	宮城県スポーツ協会	県内の小・中学生を対象に体力・運動能力に優れた児童を選抜し、トップアスリートになるために必要な知識・情報を習得させる。また、各種競技を体験する機会を設け、優れた適性を持つ児童を発掘・育成する。			・小学5年生30人、6年生25人、中学1年生29人、中学2年生27人の計111人のアカデミー生が、トップアスリートとして必要な基礎知識や身体能力を高める運動方法などの各種プログラムに取り組んだ。 ・一般県民に対し、競技体験する機会を提供し、競技の普及・振興に寄与した。
国民体育大会強化指定制度	宮城県スポーツ協会	県有施設の利用を促し、かつ競技力の向上に資する。 国民体育大会の上位入賞を目指し、強化指定選手の選定と県有施設の減免を活用し、競技団体の強化を図る			加盟団体より推薦のあった7団体、選手及び指導者合計70名を国民体育大会強化指定チーム・選手として承認した。
基本方向 2 競技活動を支える体制の整備					
国民体育大会派遣事業(再掲)	スポーツ振興課	・広く国民にスポーツを普及し、健康増進と体力向上を図ること等を目的として開催される国民体育大会の参加経費及び県予選会の開催費等の補助を行う。	77,582	59,081	国民体育大会に参加する宮城県選手団の旅費や宿泊など派遣にか係る経費の補助を行った。
東北総合体育大会派遣事業	スポーツ振興課	県スポーツ協会への活動費補助のうち、東北総合体育大会の参加経費を補助する。	54,150	36,750	東北総合体育大会に参加する宮城県選手団の旅費や宿泊費などの派遣に係る経費の補助を行った。
障害スポーツ・レクリエーション事業 (全国障害者スポーツ大会競技種目の普及促進)	障害福祉課	宮城県障害者スポーツ振興推進員を設置することにより、障害者スポーツの普及・拡大並びに障害者スポーツ団体競技の参加人口の拡大等を図る。	12,312	12,312	・宮城県障害者スポーツ振興推進員を3名設置し、障害者スポーツ教室や指導員の養成講座を開催したほか、総合型地域スポーツクラブと連携して、障害者スポーツの普及・拡大を図った。
ベガルタ仙台ホームタウン協議会事業 楽天イーグルス・マイチーム協議会事業 仙台89ERSホームタウン協議会事業 仙台プロスポーツネット事業(再掲)	スポーツ振興課	プロスポーツチームの地域への定着を支援するため、各スポーツそれぞれの地域支援組織への参画を通じ、側面支援を行う。	5,200	5,100	プロスポーツチームの地域への定着を支援するため、各スポーツそれぞれの地域支援組織への参画を通じ、側面支援を実施した。
アスリートの強化促進(再掲)	宮城県スポーツ協会	加盟競技団体が実施する競技力向上対策事業に要する経費について、補助金を交付する。 また、競技力向上を図る研修会等を開催する。			・競技団体が実施する実践的な強化事業を支援するため、補助金を交付した。 ・国体において短期的な成績向上を図るため得点獲得が期待できる競技団体に補助金を交付した。 ・高いレベルの指導者を育成することを目的とした事業を支援するため補助金を交付した。
スポーツ指導者の養成(再掲)	宮城県スポーツ協会	各種スポーツ指導者の指導力向上のため、日本スポーツ協会公認指導者の資格更新義務講習会等を開催する。			公認スポーツ指導者養成講習会事業(バレーボールコーチ1養成)34人 スポーツ指導者研修会 1回 96人 スポーツ指導者協議会事業 通年 武道指導者研修会 2回(229人) 幼児運動指導者講習会 1回(37人)
国体・東北総体への選手団派遣	宮城県スポーツ協会	国体・東北総体に宮城県選手団を派遣する。			・東北総合体育大会事業 938名参加 ・国民体育大会事業 603名参加
スポーツ医科学との関係	宮城県スポーツ協会	国民体育大会出場選手・監督に対してドーピング防止研修会を開催			・国民体育大会参加選手・監督を対象としたアンチドーピング教育・啓発研修会を9月に実施した。
スポーツ医科学との関係	宮城県スポーツ協会	国民体育大会にドクターを派遣し、選手の総合的なサポート体制を確立する。			・国民体育大会宮城県選手団帯同ドクターとして、日本スポーツ協会公認スポーツドクターを主会期に2名、冬季国体に2名派遣した。
スポーツプロモーション事業	宮城県スポーツ協会	選手の情報発信や選手と企業をつなぐ情報提供等を行い、スポーツの「する・みる・支える」気運を高める。			メディアへの情報提供 通年
施策の柱Ⅲ スポーツ活動を支えるための環境づくり					
関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4当初予算(千円)	R4決算額(千円)	令和4年度の実施状況及び成果
基本方向 1 地域のスポーツ環境の充実					
宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭開催事業(再掲)	スポーツ振興課	・県民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起する「宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭」を7つの地区ごとに開催する。	1,700	1,700	・グランディ・21を会場に開催し、延べ1,873名の県民が参加した。 ・優良スポーツ団体及び個人の表彰式を実施した。(2団体、個人5名)
体力・地域スポーツ力向上推進事業	保健体育安全課	児童生徒の体力や地域スポーツ力向上に意欲のある市町村及びスポーツ関係団体を対象に、大学や民間企業と連携して課題解決に取り組む優れた事業提案をモデル事業として採択し、実施する。	5,796	4,356	大学や民間企業と連携し、県内3市町で体力向上と運動機会の創出事業を行った。成果として、実施校では体力・運動能力の向上が見られ、児童アンケートでも運動が「好き」と回答した児童が増加した。
基本方向 2 広域スポーツセンターの機能充実					
広域スポーツセンター事業(再掲)	スポーツ振興課	(総合型クラブ普及・啓発業務) ・総合型クラブに関連する情報について、広域スポーツセンターホームページや広報等を活用して、情報提供する。 (総合型クラブ設立・育成業務) ・市町村や既存の総合型クラブ等を訪問するなどして、設立・育成のための、指導・助言を行う。 (総合型クラブ指導者育成業務) ・総合型クラブスタッフの資質向上を図るための研修会を開催する。	6,903	6,903	・総合型クラブガイド700部作成。各所に配付。HPアクセス数3,804回。 ・市町村訪問や電話相談96回。52クラブ訪問・電話相談延べ74回。講師派遣6回、講師延べ6人、参加者数合計259人。 ・グランディ・21プール会議室を会場に、15名が受講した。仙台大学教授含む3名の講師が2日間14時間の講義を行った。

関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4当初予算(千円)	R4決算額(千円)	令和4年度の実施状況及び成果
宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭開催事業(再掲)	スポーツ振興課	・県民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起する「宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭」を7つの地区ごとに開催する。	1,700	1,700	・グランディ・21を会場に開催し、延べ1,873名の県民が参加した。 ・優良スポーツ団体及び個人の表彰式を実施した。(2団体、個人5名)
広域スポーツセンター事業(生涯スポーツ活動指導者研修会)(再掲)	スポーツ振興課	・地域におけるスポーツ活動の指導者を対象に、広く生涯スポーツの振興に必要な知識・技能及び具体的な施策展開方法等について研修する。	97	89	講義・実技「ニュースポーツ・パラスポーツ研修」(クubb・モルック・卓球バレー)を行った。69名参加。
広域スポーツセンター事業(生涯スポーツ担当者会議)(再掲)	スポーツ振興課	本県の生涯スポーツを振興していくうえで効果的・効率的な事業の推進策や新たな方向性について検討する。	288	0	・4月、10月の2回実施。 ・各教育事務所生涯スポーツ担当者8名が参加。
基本方向 3 総合型地域スポーツクラブの創設・育成支援					
広域スポーツセンター事業(再掲)	スポーツ振興課	(総合型クラブ普及・啓発業務) ・総合型クラブに関連する情報について、広域スポーツセンターホームページや広報等を活用して、情報提供する。 (総合型クラブ設立・育成業務) ・市町村や既存の総合型クラブ等を訪問するなどして、設立・育成のための、指導・助言を行う。 (総合型クラブ指導者育成業務) ・総合型クラブスタッフの資質向上を図るための研修会を開催する。	6,903	6,903	・総合型クラブガイド700部作成。各所に配付。HPアクセス数3,804回。 ・市町村訪問・相談12回。52クラブに訪問・電話相談延べ74回。講師派遣6回、講師延べ6人、参加者数合計259人。 ・グランディ・21プール会議室を会場に、15名が受講した。仙台大学教授含む3名の講師が2日間14時間の講義を行った。
総合型地域スポーツクラブの育成・支援(再掲)	宮城県スポーツ協会	「総合型地域スポーツクラブ」の普及に向けた取り組みを支援するため、市町村体育・スポーツ協会が地域で大会、スポーツ教室、スポーツ研修会等を企画運営し、実施する事業に要する経費を助成する。 また、県より、みやぎ広域スポーツセンターの運営委託業務を受託し、設立・運営の助言を実施する。			地域スポーツクラブ普及推進事業 12市町村協会 みやぎ広域スポーツセンター運営業務委託事業 35市町村・52クラブ 5準備クラブ 総合型地域スポーツクラブ設立準備補助事業 1市協会 中間支援組織運営事業 35市町村・53クラブ(登録数24団体)
基本方向 4 指導者の育成と連携					
体育団体等補助事業(再掲)	スポーツ振興課	・市町村体育協会による総合型地域スポーツクラブの普及推進に係る活動経費を補助する。 ・市町村体育協会に対する全体研修会を実施する。 ・県スポーツ推進委員協議会及び地区スポーツ推進委員協議会が実施する研修及び研修派遣事業に係る経費を補助する。	1,441	1,397	・県スポーツ推進委員協議会に対して、事業経費を補助した。 ・12の市町村体育・スポーツ協会に、総合型地域スポーツクラブの創設・育成を目指し実施する事業の支援を行った。 ・県内全市町村の体育・スポーツ協会の全体研修開催に係る経費の補助を行った。
広域スポーツセンター事業(再掲)	スポーツ振興課	(総合型クラブ普及・啓発業務) ・総合型クラブに関連する情報について、広域スポーツセンターホームページや広報等を活用して、情報提供する。 (総合型クラブ指導者育成業務) ・総合型クラブスタッフの資質向上を図るための研修会を開催する。 ・アシスタントマネージャー育成を目的とした研修会を開催する。 ・クラブスタッフの資質向上を目的とした研修会を開催する。	6,903	6,903	・総合型クラブガイド700部作成。各所に配付。HPアクセス数3,804回。 ・市町村訪問・相談12回。52クラブに訪問・電話相談延べ74回。講師派遣6回、講師延べ6人、参加者数合計259人。
広域スポーツセンター事業(生涯スポーツ担当者会議)(再掲)	スポーツ振興課	本県の生涯スポーツを振興していくうえで効果的・効率的な事業の推進策や新たな方向性について検討する。	288	0	・4月、10月の2回実施。 ・各教育事務所生涯スポーツ担当者8名が参加。
みやぎシニアカレッジ運営事業(再掲)	長寿社会政策課	・高齢者に生涯学習の場を提供し、生きがいと健康づくりを推進するとともに地域活動指導者の養成を行うため、みやぎシニアカレッジ(宮城いきいき学園)5校の運営を行う。	29,506	29,506	宮城いきいき学園(5校)における、ニュースポーツやクラブ活動の実施
運動部活動地域連携促進事業(再掲)	保健体育安全課	・地域の優れたスポーツ経験者やスポーツ指導者等を「外部指導者」として活用することにより、運動部活動の充実と地域との連携を促進する。 ・外部指導者を対象にスポーツ指導者としての資質向上のための研修会を開催する。	36,748	36,748	県立学校に部活動指導員を配置し、その指導者に対して研修会を実施したことで、指導者の資質向上につなげることができた。
ベガルタ仙台ホームタウン協議会事業 楽天イーグルス・マイチーム協議会事業 仙台89ERSホームタウン協議会事業 仙台プロスポーツネット事業(再掲)	スポーツ振興課	プロスポーツチームの地域への定着を支援するため、各スポーツそれぞれの地域支援組織への参画を通じ、側面支援を行う。	5,200	5,100	プロスポーツチームの地域への定着を支援するため、各スポーツそれぞれの地域支援組織への参画を通じ、側面支援を実施した。
障害スポーツ・レクリエーション事業	障害福祉課	障害者スポーツのより一層の普及・振興を図るため、障害者スポーツに関する知識・技術等を有する障害者スポーツ指導員を養成する研修等を実施する。	816	622	・障害者スポーツ指導員養成研修(初級11名が受講、終了) ・障害者スポーツ指導員研修(3回 29名が参加) ・障害者スポーツ指導員研修会派遣(4名)

関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4当初予算(千円)	R4決算額(千円)	令和4年度の実施状況及び成果
スポーツ指導者の養成(再掲)	宮城県スポーツ協会	各種スポーツ指導者の指導力向上のため、日本スポーツ協会公認指導者の資格更新義務講習会等を開催する。			公認スポーツ指導者養成講習会事業(バレーボールコーチ1養成)38人 スポーツ指導者研修会 1回 160人 スポーツ指導者協議会事業 通年 武道指導者研修会 2回(229人) 幼児運動指導者講習会 1回(37人)
スポーツ指導者の養成(再掲)	宮城県スポーツ協会	各種スポーツ指導者の指導力向上のため、日本スポーツ協会公認指導者の資格更新義務講習会等を開催する。			公認スポーツ指導者養成講習会事業(バレーボールコーチ1養成)38人 スポーツ指導者研修会 1回 160人 スポーツ指導者協議会事業 通年 武道指導者研修会 2回(229人) 幼児運動指導者講習会 1回(37人)
アスリートの強化促進(再掲)	宮城県スポーツ協会	加盟競技団体が実施する競技力向上対策事業に要する経費について、補助金を交付する。また、競技力向上を図る研修会等を開催する。			・競技団体が実施する実践的な強化事業を支援するため、補助金を交付した。 ・国体において短期的な成績向上を図るため得点獲得が期待できる競技団体に補助金を交付した。 ・高いレベルの指導者を育成することを目的とした事業を支援するため補助金を交付した。
運動適性テストの活用	宮城県スポーツ協会(宮城県スポーツ少年団)	・運動適性テストのデータの蓄積と分析 ・運動適性テストの結果に基づく個に応じた指導を行うための研修			スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会 5回(439人)
指導者の研修促進事業	宮城県スポーツ協会(宮城県スポーツ少年団)	・幅広いスポーツの要素をバランスよく取り入れた活動を計画・実施するための研修 ・発育・発達に応じた活動を計画・実施するための研修			・スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会 5回(439人) ・スポーツ少年団関係者のための研修会 1回(84人)
指導者の指導体制の拡充	宮城県スポーツ協会	・より多くの子供達に安全で効果的な指導を行うために、指導者のスポーツリーダー資格取得の促進を行う ・1つの団体に複数のスポーツリーダー等の有資格者を配置する			・各団への有資格者複数配置 全単位団において実施
宮城県スポーツ推進委員研究大会 宮城県スポーツ推進委員女性研修会 宮城県スポーツ推進委員地区研修会(県補助事業)	宮城県スポーツ推進委員協議会	スポーツ推進委員の資質を目的とした研修会の開催や、東北・全国の研修会への参加を支援する。			宮城県スポーツ推進委員研究大会(仙台地区) 142名参加 宮城県女性スポーツ推進委員研修会(仙台市) 98名参加 宮城県スポーツ推進委員地区研修会 各地区1回×8カ所
みやぎ遊学実践塾	宮城県レクリエーション協会	レクリエーションインストラクター養成			計5回実施(8月～12月) 7名が新規インストラクターとして資格を取得
みやぎ遊学特選塾(フォローアップ研修会)	宮城県レクリエーション協会	レクリエーションインストラクター資格取得者を対象にスキルアップを図る研修会			10月23日に多賀城市で実施 参加者24名 2月18日にもイオンで別内容で実施 参加者 34名
総合型クラブマネジメント研修事業(再掲)	宮城県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	クラブマネジメントに必要となる経理処理や労務管理、また地域スポーツ振興事業、スタッフ育成など多岐にわたる知識や情報提供の機会として、有識者を講師に招き、研修会を開催する。また、特徴的なクラブや先進的な取り組みを行うモデル地域などへの視察も実施する。			
障害者スポーツ指導員養成講習会 障害者スポーツ指導員実技研修会 障害者スポーツ指導員研修会派遣事業(県補助事業)	宮城県障害者スポーツ協会	障害者スポーツのより一層の普及・振興を図るため、障害者スポーツに関する知識・技術等を有する障害者スポーツ指導員、スポーツコーチを養成する研修等を実施する。			初級障がい者スポーツ指導員養成講習(年2回) 11名受講 指導者研修会の開催(3回) 29名参加 ポッチャ審判員養成研修会派遣 4名
基本方向 5 スポーツボランティアの育成と支援					
広域スポーツセンター事業(生涯スポーツ担当者会議)(再掲)	スポーツ振興課	本県の生涯スポーツを振興していくうえで効果的・効率的な事業の推進策や新たな方向性について検討する。	288	0	・4月、10月の2回実施。 ・各教育事務所生涯スポーツ担当者8名が参加。
障害者スポーツ・レクリエーション事業(障害者スポーツボランティアネットワーク事業)	障害福祉課	障害者スポーツ大会等の開催に必要なボランティアを養成等するため、障害者スポーツの基礎知識等を習得する講習会を実施する。	224	201	・ボランティア養成研修会(2回延べ54名参加) ・リーダー養成研修(1回10名参加) ・ボランティア派遣(6回延べ92名参加)
地域スポーツ団体の支援(再掲)	宮城県スポーツ協会	市町村体育・スポーツ協会や県内の公共体育施設管理団体に対する情報提供や研修会等を行うほか、グランディ・21ボランティアへの支援等を行う。			体育施設ネットワーク事業 通年(35団体18人) ボランティア支援事業 通年(92人) メンタルトレーニング講習会 1回 市町村体育・スポーツ協会全体研修会事業(67人) 市町村体育・スポーツ協会ブロック研修会事業(7ブロック) 東京オリンピック支援開催記念事業 1回(107人) 市町村体育・スポーツ協会講師派遣事業 2市町村 スポーツ観戦機会提供事業 通年(376人)
障害者スポーツボランティア講習会(障害者スポーツボランティアネットワーク事業)(県補助事業)	宮城県障害者スポーツ協会	障害者スポーツ大会等の開催に必要なボランティアを養成等するため、障害者スポーツの基礎知識等を習得する講習会を実施する。			ボランティア養成講習会 3回実施 64名受講 ボランティア派遣事業 6事業実施 延べ92名派遣

関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4当初予算(千円)	R4決算額(千円)	令和4年度の実施状況及び成果
基本方向 6 表彰制度の拡充					
スポーツ奨励事業	スポーツ振興課	・本県のスポーツに多大なる貢献を果たした個人及び団体を顕彰する「宮城県スポーツ賞」の表彰を行う。	953	883	宮城県スポーツ賞として、75の団体・個人を表彰した。また、関係スポーツ団体(県スポーツ協会、県中体連、県高体連)と合同で表彰式を行った。
宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭開催事業(再掲)	スポーツ振興課	・県民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起する「宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭」を7つの地区ごとに開催する。	1,700	1,700	・グランディ・21を会場に開催し、延べ1,873名の県民が参加した。 ・優良スポーツ団体及び個人の表彰式を実施した。(2団体、個人5名)
スポーツ活動奨励事業	宮城県スポーツ協会	表彰規定に基づき、事業発展・スポーツ向上に功労並びに功績があった個人・団体及び国民体育大会で入賞した個人・団体を表彰する。			宮城県・高体連・中体連と合同で表彰式を実施し、スポーツに功労・功績のあった個人82名、31団体に表彰を行った。
表彰事業	宮城県高等学校体育連盟	本県高校スポーツ界の向上に功績があった生徒(個人・団体)や高体連発展のために功労のあった教職員その他に対し、特別表彰・功績賞・優秀監督賞・功労賞・感謝状を授与する。			県・県スポ協・中体連・高体連の4団体合同で3年ぶりに開催した。特別表彰など各賞合わせて157個人団体(前年比+44名)に対して表彰を行い、本県高校スポーツの功績を広く周知することができた。
表彰事業	宮城県中学校体育連盟	本県中学校スポーツ界の向上に功績があった生徒(個人・団体)や中体連運営と発展に特に功績のあった個人あるいは団体に対し、功績賞・功労賞を授与する。			4者合同での表彰式ができた。新型コロナウイルスの影響で保護者等の観覧はできなかったが、緊張感のあるすばらしい式となった。
宮城県スポーツ少年団表彰式	宮城県スポーツ協会(宮城県スポーツ少年団)	表彰規定に基づき、スポーツ少年団の発展向上に貢献した単位スポーツ少年団や指導・育成に貢献した指導者に功績賞・功労賞を授与する。			表彰規程に基づき、スポーツ少年団の発展向上に貢献した単位スポーツ少年団や指導・育成に貢献した指導者の表彰(36団体・93人)
基本方向 7 スポーツを支える組織の強化					
部活動の在り方検討会議【再掲】	保健体育安全課	本県の部活動に関する様々な課題と目指すべき姿を検討するため、教育関係者及びスポーツ関係者を構成員とした検討会議を開催する。	18	18	学校部活動及び地域クラブ活動に関するガイドライン検討会の開催(1回)
スポーツ医科学との連携(再掲)	宮城県スポーツ協会	国民体育大会出場選手・監督に対してドーピング防止研修会を開催			・国民体育大会参加選手・監督を対象としたアンチドーピング教育・啓発研修会を9月に実施した。
基本方向 8 スポーツ安全に関する情報分析・研究及び成果の活用					
地域スポーツ団体の支援(再掲)	宮城県スポーツ協会	市町村体育・スポーツ協会や県内の公共体育施設管理団体に対する情報提供や研修会等を行うほか、グランディ・21ボランティアへの支援等を行う。			体育施設ネットワーク事業 通年(35団体18人) ボランティア支援事業 通年(92人) メンタルトレーニング講習会 1回 市町村体育・スポーツ協会全体研修会事業(67人) 市町村体育・スポーツ協会ブロック研修会事業(7ブロック) 東京オリンピック支援開催記念事業 1回(107人) 市町村体育・スポーツ協会講師派遣事業 2市町村 スポーツ観戦機会提供事業 通年(376人)
広域スポーツセンター事業(再掲)	スポーツ振興課	(総合型クラブ普及・啓発業務) ・総合型クラブに関連する情報について、広域スポーツセンターホームページや広報等を活用して、情報提供する。 (総合型クラブ設立・育成業務) ・市町村やクラブ等を訪問するなどして、設立・育成のための指導・助言を行う。	6,903	6,903	・総合型クラブガイド700部作成。各所に配付。HPアクセス数3,804回。 ・市町村訪問・相談12回。52クラブに訪問・電話相談延べ74回。講師派遣6回、講師延べ6人、参加者数合計259人。
スポーツ医科学との連携(再掲)	宮城県スポーツ協会	国民体育大会出場選手・監督に対してドーピング防止研修会を開催			・国民体育大会参加選手・監督を対象としたアンチドーピング教育・啓発研修会を9月に実施した。
部活動における事故防止啓発事業	宮城県中学校体育連盟	県評議員会・本連盟Webサイトにおいて、事故防止を促す啓発活動を行う。			部活指導における留意点等を記載した啓発冊子「安全に部活動を行うために」をHPに掲載し、各競技種目の特性や練習内容、安全確保のポイント等を周知した。熱中症事故防止の対策等についてもHPで広報活動を行った。
基本方向 9 スポーツ観光の推進とスポーツ大会の誘致					
全日本実業団女子駅伝競走大会開催支援事業	スポーツ振興課	全日本実業団対抗女子駅伝の大会開催を支援する。	5,447	4,766	コロナ禍においても事故等なく安全に大会運営ができた。 ・大会出場者に対する各種県産品等の商品の提供 ・大会開催の周知や交通規制の広報 ・フィニッシュ地点等催しに要する経費 ・大会運営事業補助金
広域スポーツセンター事業(生涯スポーツ担当者会議)(再掲)	スポーツ振興課	本県の生涯スポーツを振興していくうえで効果的・効率的な事業の推進策や新たな方向性について検討する。	288	0	・4月、10月の2回実施。 ・各教育事務所生涯スポーツ担当者8名が参加。
大規模大会誘致支援事業(非予算的手法)	スポーツ振興課	大規模大会を誘致するために広報活動等を支援する。			

関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4当初予算(千円)	R4決算額(千円)	令和4年度の実施状況及び成果
教育旅行誘致促進事業	観光政策課	教育旅行で本県を訪れていただく事は将来的なりピーターとなる可能性があり、長期的な交流人口を確保するため、北海道及び中部以西の学校関係者の招請事業や教育旅行セミナーへの参加、現地旅行会社や学校関係者訪問によるPRの実施等を実施し、教育旅行の誘致を図るもの。	4,351	68,295	教育旅行誘致に向けた取組として、北海道、首都圏、関西圏の学校関係者、旅行会社等を対象としたセミナー等を開催した。また、教育旅行関係団体や中学校・高等学校教職員を対象として教育旅行モニターツアーを開催し、13名の学校教員の参加があった。
各種観光展等参画事業(スキー場冬季誘客共同宣伝事業)	観光プロモーション推進室	首都圏及び県外事務所所在県等で開催される各種観光展において、本県の観光資源を紹介宣伝し、観光客の誘致促進を図るもの。「冬季共同宣伝事業」については、県内のスキー場関係者と連携し、冬期間だけではなくスキー場への誘客促進を図るもの。	324	324	県内のスキー場関係者と連携し、冬期間及びスキー場への誘客促進を図るためのキャンペーン(河北ウィークリーへの広告掲載等)を実施した。
宮城オルレ推進事業	観光プロモーション推進室	トレッキングコースである宮城オルレについて、新規コース造成を支援するとともに、各コース連携したイベントの実施や、国内外に向けたプロモーションにより、誘客促進を図るもの。	54,200	23,351	宮城オルレフェア(各コースイベント及びスタンプラリー)を実施した。また、新規コース造成支援、外国人観光客誘致のためのプロモーションなどを実施した。
指導者を対象とした国際交流事業 日中青少年交流事業	宮城県スポーツ協会(宮城県スポーツ少年団)	・ドイツや中国への派遣事業を通して、海外のスポーツ文化について学ぶ ・ドイツや中国への派遣事業を通して、海外の子どもたちのスポーツ事情について学ぶ			新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインで実施(3人)
団員を対象とした国際交流事業(再掲)	宮城県スポーツ協会(宮城県スポーツ少年団)	・ドイツや中国への派遣事業を通して国際的な視野を持った青少年を育成する ・ドイツや中国の青少年とスポーツ活動を中心とした交流を通して、海外のスポーツ事情について学ぶ ・ドイツや中国でのディスカッションやホームステイを通して海外の文化について学ぶ ・ドイツ団や中国団の受け入れを通して海外のスポーツ事情や文化について学ぶ			新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインで実施(5人)
基本方向 10 身近なスポーツ施設の充実					
総合運動公園等施設整備費	スポーツ振興課	・総合運動公園等の施設整備を行う。	785,975	667,536	老朽化が進行する各施設の長寿命化のため、必要な工事・備品の更新を実施した。(工事・修繕計15件、設計等委託6件、その他役務1件、備品更新12件) また、楽天野球団に管理許可を与えている宮城球場の改修費について負担金を楽天野球団へ支出した。
スポーツ施設指定管理者事業費	スポーツ振興課	・県有スポーツ施設の管理運営業務を効率的かつ効果的に実施するため、引き続き、民間活力を導入する。	708,029	703,047	・指定管理者による県有体育施設の管理・運営がなされ、利用者に対して民間のノウハウを活かしたサービスを提供することができた。
スポーツ施設等維持管理委託事業	スポーツ振興課	・指定管理制度を導入している施設以外の県有スポーツ施設等の維持・管理の委託を行う。	2,537	2,530	各種カヌー大会や強化練習のため、コースの設置・撤去を行った。
宮城県自転車競技場施設整備費	スポーツ振興課	・自転車競技の普及及び発展を図るため、(公財)宮城県スポーツ協会が行う宮城県自転車競技場管理運営に要する経費に対して補助を行う。	17,813	18,275	・走路照明の修繕を行い、公認認定の規格を満たす競技場の維持を図ることができた。
スポーツ施設管理費	スポーツ振興課	・県有体育施設の公認競技施設としての更新手続き等を行う。	1,528	1,420	・長沼ボート場のA級コースの公認更新を行うことができた。 ・長沼ボート場で使用している船舶1艇について、中間検査を実施することができた。
障害者総合体育センター費	障害福祉課	障害者のスポーツの振興及び普及を図り、障害者の心身の健全な発達及び社会参加の促進に資するために設置した「宮城県障害者総合体育センター」について、指定管理者制度を導入	28,860	28,860	・利用者本位の円滑な施設管理運営により、県民サービスの向上と管理経費の節減が図られた。
温水プール運営費補助	障害福祉課	障害者の体育振興を通じ、勤労、社会参加への意欲を高めるため、温水プールの運営に対し補助する。	16,500	16,500	・水中プール教室の開催等により、障害者と地域住民の交流促進及び障害者スポーツの啓発を図った。
広域スポーツセンター事業(生涯スポーツ担当者会議)(再掲)	スポーツ振興課	本県の生涯スポーツを振興していくうえで効果的・効率的な事業の推進策や新たな方向性について検討する。	288	0	・4月、10月の2回実施。 ・各教育事務所生涯スポーツ担当者8名が参加。
みやぎ観光戦略受入基盤整備事業	観光政策課	訪れる人々が登山等を通して安全に自然を楽しめるよう、登山道等の自然公園施設の再整備等を行うもの。	224,025	90,562	蔵王国定公園等の登山道等の整備を実施し、利用者の利便性、安全性の向上に寄与した。
公のスポーツ施設に係る管理運営事業	宮城県スポーツ協会	施設の設置目的に合わせて利用者のニーズ把握等を行い、一層のサービス向上・利便性向上・施設利用者数の拡大を図るとともに、安全・安心を最優先とした施設の管理・運営を行う。			施設管理運営・貸与事業 通年(1,229,122人)
宮城県自転車競技場管理運営事業	宮城県スポーツ協会	宮城県自転車競技場の管理運営及び施設の貸与事業を行う。			施設管理運営・貸与事業 通年(3,895人)

関係事業名	担当課室・団体等	事業概要	R4 当初予算 (千円)	R4 決算額 (千円)	令和4年度の実施状況及び成果
基本方向 11 プロスポーツや企業・大学と地域スポーツの好循環					
全日本実業団女子駅伝競走大会開催支援事業(再掲)	スポーツ振興課	全日本実業団対抗女子駅伝の大会開催を支援する。	5,447	5,447	
広域スポーツセンター事業(再掲)	スポーツ振興課	(総合型クラブ設立・育成業務) ・市町村及びクラブの課題整理を行い、総合型クラブ設立及び育成に向けた支援を行う。	6,903	6,903	・未設置11市町村に延べ19回訪問。白石市に1クラブが設立し、設置市町村は25市町、クラブ数は53。3町で準備団体設立済み。 ・52クラブに訪問・電話相談延べ74回。
ベガルタ仙台ホームタウン協議会事業 楽天イーグルス・マイチーム協議会事業 仙台89ERSホームタウン協議会事業 仙台プロスポーツネット事業(再掲)	スポーツ振興課	プロスポーツチームの地域への定着を支援するため、各スポーツそれぞれの地域支援組織への参画を通じ、側面支援を行う。	5,200	5,100	プロスポーツチームの地域への定着を支援するため、各スポーツそれぞれの地域支援組織への参画を通じ、側面支援を実施した。
プロスポーツ連携事業(再掲)	宮城県スポーツ協会	県民が競技の楽しさをより深く体験することができるよう、プロスポーツ団体と連携し、プロスポーツ選手によるスポーツ教室を開催する。			仙台89ersバスケットボール教室 1回(56人) リガーレ仙台バレーボール教室 1回(45人)